

# VERIFICATION STATEMENT

Statement No.: PRJN-631183

Page 1 of 2  
initiate reporting of

## Verification of Greenhouse Gas Report (2022)

### < 検証の目的 >

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）は、三菱ガス化学株式会社（以下、組織）より、2022年度における組織の温室効果ガス排出量の算定結果報告書 2024年3月8日版（以下、報告書）に関して、第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する温室効果ガス排出量算定結果に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

### < 検証の範囲 >

検証の範囲は、2022年度における組織の日本国内及び海外での事業における排出量である。組織の関係会社の事業における排出量は含まれない。ただし、日本国内にあっては「『省エネルギー法定報告書・中期計画書（特定事業者等）記入要領（2023年5月18日改訂）』1.(11)産業部門における地縁的一体性を持った複数事業者の取り扱い」に基づいて組織がエネルギー管理を担っている組織外の事業者から排出される温室効果ガス（以下、GHG）は算定範囲に含む。算定対象となるGHGは、Scope 1、Scope 2、及び Scope 3の一部（Category 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 11, 12, 13）におけるCO<sub>2</sub>である。

### < 算定・検証基準 >

検証対象であるGHGの特定・計算・監視・報告の基準は、GHG Protocol Corporate Accounting and Reporting Standard（第2版）及び組織のGHG排出量算定ルールである。また検証の基準は、ISO 14064-3:2019である。

### < 検証プロセスと方法論 >

上記検証基準への適合性はGHG算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

### < 検証声明 >

DNVの限定的保証水準に基づく意見として、報告書に報告されているGHG排出量の主張に関して、組織のGHG排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。なおDNVは、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。

場所・日時：日本・神戸、2024年3月14日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



Akira Sekine

Approved Verifier



Tsuyoshi Katori

Approved Verifier, Technical Reviewer



Naoki Maeda

Representative Director, SCPA  
Senior Vice President

### <算定の対象期間>

2022 年度 GHG 排出量算定の対象期間は、2022 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日である。

### <組織境界>

支配力基準  出資比率基準  その他の基準\*

\*算定範囲の決定基準：組織単体のGHG排出量および『『エネルギーの使用の合理化等に関する法律第15条及び第19条の2に基づく定期報告書記入要領(2023年5月18日改正)』1.(6)産業部門における地縁的一体性を持った複数事業者の取り扱い』に基づいて組織がエネルギー管理を担っている組織以外の事業者から排出されるGHGを算定範囲に含む。

### <検証された GHG データ>

DNV の検証意見として GHG データは、現実性・透明性・測定可能性があるものである。

【GHG Protocol 基準】

- GHG 種別 :  CO<sub>2</sub>  CH<sub>4</sub>  N<sub>2</sub>O  HFCs  PFCs  SF<sub>6</sub>  NF<sub>3</sub>
- GHG 排出量 (Scope 1) : 562,368 tCO<sub>2</sub>e
- (Scope 2) : 162,600 tCO<sub>2</sub>e (Market-based)
- (Scope 3) : 7,167,900 tCO<sub>2</sub>e

#### Scope3 カテゴリ毎の排出量

カテゴリ 1: 購入した製品・サービス	3,924,410 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 2: 資本財	178,748 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 3: Scope 1、2 に含まれない燃料及びエネルギー活動	126,473 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 4: 輸送、配送 (上流)	213,521 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 5: 事業から出る廃棄物	8,926 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 6: 出張	319 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 7: 雇用者の通勤	979 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 8: 上流のリース資産	3,183 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 9: 輸送、配送 (下流)	63,756 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 10: 販売した製品の加工	Not accounted for
カテゴリ 11: 販売した製品の使用	364,066 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 12: 販売した製品の廃棄	2,271,986 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 13: 下流のリース資産	11,532 t-CO <sub>2</sub> e
カテゴリ 14: フランチャイズ	Not accounted for
カテゴリ 15: 投資	Not accounted for

上記の排出量はすべて検証済みである。

### <検証意見>

無限定適正  限定適正  意見差し控え

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。